



八幡平高原 初秋 Photo by S.YAMAOKA

Yamato 研修会

国内展示会

INTERMEASURE 2002
中部パック 2002



海外レポート

インターパック 2002
ドイツのヴェリッヒ市長訪問



新商品紹介

全自動身長体重計 YSW-5500
デジタル体重計 DP-7200
デジタル台はかり DP-6200
オートチェッカ CSHシリーズ
列車輪重測定装置



新役員ごあいさつ

西出 和博

サービスセンター課ご紹介

2002年度実習教育



2002年度 Yamato研修会 多数ご参加

毎年恒例の優良販売店表彰並びに新年度研修会を、本年は2002年度Yamato研修会と名前を変え、8月1日に神戸メリケンパークオリエンタルホテルにて、全国の販売店様56社のご参加を賜り、盛大に開催いたしました。

開会宣言・社員紹介の後、川西社長より2001年度の売上増大にご尽力頂いた販売店様に心よりの感謝を込め、感謝状と記念品を贈呈させて頂きました。

そしてご出席各社のご代表として、高森コーキ株式会社 高森社長様より謝辞を頂きました。

また、特別表彰の各賞につきましても、2001年度弊社の営業政策の展開と売上の向上に最も顕著な貢献を頂いた販売店様に対し、感謝を込めて表彰させて頂きました。

次に長谷川常務取締役営業本部長より、2002年度営業本部方針を発表致しました。

Yamatoが目指す真のグローバル化として世界ネットワークの紹介を行い、各部門・組織を独自事業体としたモジュール化を図り、仮想企業体(バーチャル化)ができるレベルまでに国際競争力のある企業構造を構築することを発表し、各販売店の皆様には昨年同様、弊社製品の取り扱いの拡大を図って頂きたい事をお願い致しました。

新商品展示コーナーでは、成長分野をターゲットとした新商品のビジネスチャンスをより具体的にご理解頂けるように、健康関連機器 / 普通はかり / 産機・自動機器製品の3つのコーナーに分けて展示しました。中でも健康関連機器コーナーにおいては、家庭におけるプライマリーケア商品として新たなビジネスをご提案した、高精度型体脂肪計 <ボディプランナー>を始め、病院・施設をターゲットにした全自動型身長体重計等を展示発表し、ご好評を賜ると共に貴重なご意見・ご要望を頂戴致しました。

研修会の後、同ホテル内のディナーショー会場において、皆様の日頃のご愛顧に感謝する懇親会を開催致しました。

会場ではYamato Music Festivalと題し、恒例の弊社社長の演奏も加えたジャズバンドによるセッションと、ペルー民族音楽・ペルシャ音楽による幻想的な演奏を楽しんで頂き、大変な盛り上がりの内に終わりました。

翌2日は、ルミナス神戸2による神戸沖クルージングと、ゴルフプレーの2グループに分かれ、昼食は六甲山頂にあります川西家の別荘に集合して頂き、社長手作りの料理をお楽しみ頂きました。

2日間に渡る研修会・懇親会・観光を無事終了することができました事は、ご参加頂きました皆様のご協力の賜と深く感謝致しております。



INTERMEASURE 2002



(社)日本計量機器工業連合会の主催による第20回国際計量計測展が「見せます!新しい計る、測る、量るの世界」のテーマのもと、2002年4月10日~12日の3日間、東京国際展示場(東京ビッグサイト)に於いて開催されました。

今開催は(社)日本計量機器工業連合会の創立50周年記念事業としての併催であり、会員企業100社からの出展がありました。開催に当たっては経済産業省より記念事業ご来賓の松あきら大臣政務官が展示ご視察中に当社ブースにお立ち寄りくださり、「内蔵脂肪算出機能付体脂肪計」について川西社長より説明いたしましたところ、熱心にお聞き頂くと共に大変に興味をお示しいただきました。

展示商品につきまして、当社は東4ホール M-15に位置し、魅力有る新商品を多数出展いたしました。自動機器商品としては、新時代に適した性能/操作

性/表示/機能/コストパフォーマンスを実現したオートチェッカ(CSHシリーズ)他、X線異物検査装置、金属検出機など。産機商品は計量器のリモート監視・制御・保守ができるリモートメンテナンスシステムやHACCP対応のセルフクリーニングスクリュース式Lフィーダ。

普通はかり商品は、先にご紹介の体脂肪計、デジタル体重計等の健康管理商品や、どのような計量環境にもお応えできるデジタル台はかり(DP-5500シリーズ)等、各事業部が先端技術導入の新商品を展示紹介いたしました。

今回、3日間の開催期間で国内外から35,728人の総入場者を数え、当社ブースにご来場頂いた方々は約500人と前回を上回る盛況ぶりであった事は、ご多用の中、ご来場頂きご商談賜ったお客様のお陰であると深く感謝いたします次第です。

最後にこの展示会の企画、立案、設営、商品担当など運営にご協力頂きました関係各位には紙面を借りてお礼を申し上げます。



中部パック 2002

4月10日(水)から13日(土)の4日間、「守りたい、人と未来と環境と」をテーマにポートメッセなごや(名古屋市港区)に於いて「2002中部パック」が、開催されました。

本展示会は、中部包装食品機械工業会の主催で開催される中部地区最大の包装機械展で、今回13回目を数え、約200社が参加し、前回を上回る62,000人の入場者が有りました。

当社は、企業イメージカラーのスカイブルーをベースとした小間に、展示会テーマでもある「食品の安全」を意識した、安全包装検査システム(データウェイ+縦ピロー包装機+金属検出機+X線異物検査装置+オートチェッカ)のデモ(実働)ライン展示及び、粘着物食材対応の半自動式組合せはかりJAWS1000の実演展示を行い、多くの来場者の関心を集めました。特にX線異物検査装置は、異物サンプルを持参し検出テストを希望されるユーザー様が数社有り、関心の高さを再認識しました。

この展示会で、当社の小間にお立ち寄りいただいた、新規及び既存のお客様に感謝し、今後の受注活動に努力すると共に、ご協力頂いた関係各位にお礼を申し上げます。



インターパック 2002 (ドイツ)

4月24日から30日までドイツ・デュッセルドルフで開催されたインターパック展に参加いたしました。例年より2ホール多い117ホールを使った世界最大の包装機展で、出展社は2,500社を超え、きっちり見て回れば一週間はかかるであろうその規模の大きさと、2階建てのものも多く、趣向を凝らした各社のブースに驚かされました。世界各国の御客様をお迎えし、英語が通じない方々も多数おられ、コミュニケーションを取るのに苦労しました。拙い説明ながら、こちらの説明に納得して頂いたときはほっとすると同時に充実感を覚えました。さらに、普段は見る機会の少ない様々な製品を発見したことも、Yamatoにとって、たいへん意義深いことでした。

また、他社のブースを見学した際は、Yamatoの名前を出すことによって情報がもらえたり、また門前払いを食らったり先して、Yamatoの知名度の高さを実感することができ、貴重な経験となりました。



ドイツのヴェリッヒ市長、川西社長を招待

4月にドイツで開催されたインターパック展の際、川西社長とヴェリッヒ市のハイエス市長の再会が実現しました。ヴェリッヒ市は、YSGが拠点を置くドイツ西部の都市ですが、昨年11月、同市のハイエス市長が日本を訪問された際、明石のYamato本社、明石市役所、神戸市役所を表敬訪問されました。その際、川西社長より心暖まるおもてなしを受けたお礼にと、同市長が今回の川西社長の訪独に際し、社長並びに役員をヴェリッヒ市での歓迎行事に招待してくださいました。

まず、ネールゼン城(現在は同市の市庁舎)にて歓迎レセプションがあり、川西社長がハイエス市長へ、日本では「神様の涙」とも言われる日本酒を贈りました。市長は、今回の訪問を本当に歓迎してください、大和の帽子をかぶって現れるなど、大変な気配りを見せてくださいました。

丁度、ドイツではアスパラガスの季節で、その後の会



食では参加者一同で、旬のアスパラガスを味わいました。また、この再会と会食の場には、在デュッセルドルフ日本国総領事館の神余総領事、中野副領事、そしてヴェリッヒ市日本人会の野口会長が同席されました。神余総領事は、「大和製衡とヴェリッヒ市の関係は、友好的な民間外交のモデルケースです。大和製衡の様に、日系企業が地元ドイツの市当局とこれほどの友好関係を築いておられることは、日独友好にも大きな貢献になります。」と語られました。今回、インターパック展示会の合間の忙しい時ではあり

ましたが、Yamato、ヴェリッヒ市、外務省(総領事館)、ヴェリッヒ日本人会の皆様が一同に会し、その交流を深める事ができました。また、ドイツの地元新聞社も駆けつけ、その模様は翌日の地元新聞でも紹介されました。



全自動身長体重計 YSW - 5500

身長と体重を簡単に自動計測できる『全自動身長体重計 YSW - 5500』を2002年11月に発売を予定しています。コスト、性能、使い勝手に優れたYamatoの全自動身長体重計は、病院をはじめ診療所や福祉施設、学校などでの定期検診や健康診断、外来診療等さまざまな用途でご使用いただけます。

- ①大きく見やすい蛍光表示
大きく見やすい蛍光表示を採用。身長・体重・BMI(又はローレル指数)の3データを一度に表示し、ひと目で測定値がわかります。
- ②肥満度測定が簡単
計量部に乗るだけで体重と身長を自動的に測定し、BMIまたはローレル指数を計算し表示します。肥満度測定が即座にできます。
- ③国家検定品
国家検定品につき、体重値は診断書の発行やカルテに記載する際の証明に使用できます。
- ④50g単位の正確な体重測定
体重は目量(最小表示)50g単位に量れ、少しの体重変化も正確に測定。
- ⑤身長測定は1mm単位
身長の測定範囲は80cm~200cm、0.1cm(1mm)単位の計測ができます。

- ⑥移動用キャスター付き
移動に便利な移動用キャスターと取っ手を標準装備。
- ⑦プリンタ付で記録も万全
ジャーナルプリンタJPS-508(オプション)で、シリアル番号・身長・体重・BMI(又はローレル指数)値などの測定結果のプリントアウトが可能。



BMI = 体重(kg) ÷ 身長²(m)

BMI(Body Mass Index)は、国際間でも広く通用する体格指数として用いられることが多く、標準体重(理想体重)は、もっとも疾病の少ないBMI=22とされています。

BMI判定

- ・18.5未満 ... 低体重
 - ・18.5以上25未満 ... 普通体重
 - ・25以上30未満 ... 肥満(1度)
 - ・30以上35未満 ... 肥満(2度)
 - ・35以上40未満 ... 肥満(3度)
 - ・40以上 ... 肥満(4度)
- 日本肥満学会による肥満の判定基準

ローレル指数 = 体重(kg) ÷ 身長³(cm) × 10⁷

ローレル指数は、学童の健康診断などで用いられるもので、この指数が160以上ならば、肥満と判定されます。

デジタル体重計 DP - 7200

ローコストタイプの『デジタル体重計 DP - 7200』を2002年3月に発売し、大変ご好評を頂いております。DP - 7200は、業務用の体重計として他社に負けないコストパフォーマンスを実現しました。

- ①驚きの低価格
標準価格60,000円!!(検定なし) 業務用としては、今までにない低価格を実現。
- ②簡単操作でウエイトチェック
大きめのボタンでワンタッチ操作。だれでも簡単に体重測定ができます。
- ③セパレート型も選択可能
はかり本体と表示部(スタンド付)を自由に設置できるセパレート型。表示部を検者の手元に置けば、知られたくない体重も、他人には見られる心配がありません。集団検診などに最適です。
- ④コードレスで計量場所を選びません
単一乾電池6本で、通常使用約500時間(アルカリ乾電池使用時約1000時間)以上の長寿命。製品重量も約11kgと軽く移動が簡単。計量場所の電源を気にすることなく使用できます。オプションのACアダプタで100V電源の使用も可能です。
- ⑤首振り機能
表示部の横振り・縦振りができ、体重測定時の見やすい角度に調節できます。
- ⑥新計量法(平成12年8月省令改正)対応
国際規格(OIML-R76)と整合を取った厳しい判定基準に対応。精度等級は○級となっています。
- ⑦特別仕様として検定品も可能
標準は取引・証明以外用(検定なし)ですが、取引・証明用(検定品)も選択可能です。診断書の発行やカルテに記載する際の証明などに使えます。
検定品は5,000円増



デジタル台はかり DP - 6200

ローコスト単機能タイプの『デジタル台はかり DP - 6200』を2002年3月に発売して以来、大変ご好評を頂いております。計量現場で使用されているはかりの約70%が単機能タイプです。2電源方式ですので使用場所を選びません。また、検定品と検定なしを用途に合わせて選択できます。学校給食、病院、ホテル等の食品の入荷検収用、食品工場での原材料の計量、生産ラインの検品用など、あらゆる計量現場でご使用いただけます。景気の低迷する中、お客様のニーズにマッチしたシンプル&エコミーなデジタル台はかりです。

①驚きの低価格

標準価格60,000円!(検定なし)
今までにない低価格を実現。

②使い易さに徹したシンプル機能

はかりの基本機能に仕様を絞り、大きめのボタンでワンタッチ操作。だれでも簡単に操作ができます。

③コードレスで計量場所を選びません

単一乾電池6本で、通常使用約500時間(アルカリ乾電池使用時約1000時間)以上の長寿命。製品重量も約13kgと軽く移動が簡単。計量場所の電源を気にすることなく使用できます。オプションのACアダプタで100V電源の使用も可能です。

④あらゆる計量現場で活躍

ひょう量は30kg・60kg・150kgの3タイプから

選択でき、流通倉庫・食品加工・製造業などあらゆる計量現場でご使用いただけます。

⑤作業に合わせて最適角度に首振り

作業姿勢で見やすい角度にはかりの表示部の角度を調節できます。

⑥新計量法(平成12年8月省令改正)対応 国際規格(OIML-R76)と整合を取った厳しい判定基準に対応。精度等級は○級となっています。

⑦特別仕様として検定品も可能

標準は取引・証明以外用(検定なし)ですが、取引・証明用(検定品)も選択可能です。計量値は取引・証明にも使え、安心の計量、信頼の取引が行えます。

検定品は5,000円増



オートチェッカ CSHシリーズ

CSHシリーズオートチェッカは、新時代に適した性能性 / 操作 / 表示 / 機能 / コストパフォーマンスを実現した新商品です。あらゆるニーズに応えるべく、本シリーズでは非防水形、防水形、非防水金検一体形、防水金検一体形をラインナップしています。

1. 高精度、高能力

- ①計量コンベヤ風袋重量の軽量化による応答性のアップ。
- ②高性能CPUと大容量メモリ採用。

2. 簡単メンテナンス・簡単操作

- ①コンベヤ及び搬送ベルトの工具無しワンタッチ脱着ができますので、清掃性の向上、作業時間の短縮が可能となりました。
- ②指示計はウイザード(設定補助)機能を搭載したタッチパネルです。対話方式で設定しますので、誤設定、設定漏れを防ぐことができます。

3. サニタリーデザイン(HACCP対応機)

- ①パイプ構造であり、被計量物が万一落下しても滞留しにくい構造です。
- ②架台、制御ボックス等外装は全てステンレスで構成されており、塗装部がありませんので、医療品製造ラインにも対応します。

4. フレキシブル設計

- ①コンベヤ駆動用にDCモータを使用することにより、ベルト速度の可変範囲が広く、また指示計画面からの設定のみで速度変更が可能です。
- ②送り込みコンベヤを取り外し可能とすることにより、金属検出機、X線異物検査装置などと最小スペースでのレイアウトが可能です。
- ③指示計は、ポール取り付け方式だけでなく、独立しても設置できるようにしています。このことにより、操作指示部の設置場所に関し、顧客のご要望に応じた選択を提供することができます。(ロケーション・フリー)

④日・英・中表示ワンタッチ切替え、マルチランスタップの採用により、世界での使用が可能です。

5. 先進のテクノロジーの採用

- ①自己診断、自己復帰、最適制御、リモートメンテナンスを実現。
- ②ネットワーク(アークネット、イーサネット)使用により、複数機器の接続が可能になり、また、可能通信距離が長くなりますので、操作指示部を遠隔に置くこともできます。

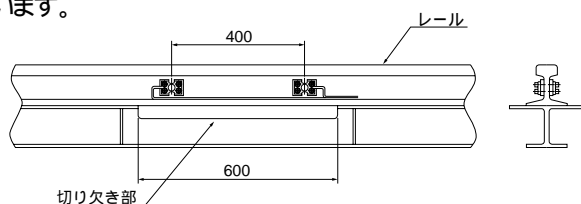


ロケーションフリー 一例

列車輪重測定装置

数年前に発生した営団地下鉄日比谷線の脱線・衝突事故は、「左右の輪重差が大きい」ことが主因であると判明しました。そこで、国土交通省(当時運輸省)は、鉄道事業者に対して列車の輪重を測定し、国土交通省に報告することを義務づけました。

従来から弊社では「フランジ乗上式」や「ロードセル埋込式」が存在し、また、他社では「せん断ゲージ式」といった列車輪重測定装置が存在します。しかし、「フランジ乗上式」や「ロードセル埋込式」は製作費や工事費が高価となります。一方「せん断ゲージ式」は製作費・工事費は安価ですが、ゲージを直接レールに貼り付けることから耐環境性に問題があり、寿命が短いという欠点がありました。ここに紹介します「せん断ユニット(小判絞)」を使用した「せん断ユニット式」列車輪重測定装置は、ユニットの製作費が通常のロードセルに比べて安価で、据付はユニット取付座の溶接のみのため、工事費も安価となります。また、弾性体はオールステンレス製で完全防水構造となっておりますので、耐環境性にも優れ長寿命を実現しています。



主仕様

測定範囲：0.1t～10t
目量：10kg
精度：±2% of FS (非直線性)
±2% of FS (ヒステリシス)
走行速度：10km/h以下



新役員ごあいさつ



西出 和博

「変革の時代」少し表現を変えるならば、「従来と同じことをしては企業も人も生き残れない厳しい時代」に私たちは直面しています。当社は、昭和20年12月の創立以来、57年の歴史を有しておりますが、長期間「はかり」のみで比較的安定した商いをしていまして、「安定」が「安心」に繋がり、「安心」が「油断」に繋がるといういわゆる「甘えの連鎖」が起きている事実は否定できないと感じています。昨今の新聞・テレビ等の報道を例に挙げるまでもなく、歴史に胡座をかいている企業は、名門企業と雖も、この「変革の時代」においては生き残ることはできません。

このような時代背景の中で、当社にとって最も大切なことは、「大和の企業文化を変えること」であり、具体的には、スピードを重視し、リスクを恐れずに行動するという企業風土へと変えていくことだと考えています。また、当社が市場における存在感を今後も維持し、さらに高められるか否かは、お客様の立場に立った戦略作りと、その戦略を如何に確実に遂行するかにかかっていると考えます。政策担当主幹である経営企画部長として全力を尽くす所存でございます。改めまして、宜しく願い申し上げます。

サービスセンター課紹介



サービス部サービスセンター課のメンバー

「顧客満足は品質・技術・サービスの向上から」は、当社の2002年度のスローガンです。当社は2000年度に「顧客満足はサービスの向上から」をスローガンとして採用した時から、アフターサービス体制に対する企業の取り組み姿勢に大きな舵取りを行いました。つまり、それまで優先度の低かったお客様に対するアフターサービスに対する改善を、経営トップの大本命の下、大きく改革し、製品のみならず、アフターサービスでもお客様から認めていただけるための体制作りを開始致しました。

2001年9月に、サービス部を新設、従来から部品の供給業務のみを担当していた営業サービス課に、新たにメンテ技術に対応するため、メンテ技術相談窓口と技術員派遣/工事手配業務を担当するメンバーを加え、部長以下総勢19名のメンバーで、サービス部サービスセンター課として業務を開始致しました。Yamatolは学びました。「お客様の欲するものは、良い製品を供給するだけのメーカーではなく、製品を供給した後もきちんと組織され計画されたアフターサービスと情報を提供できるメーカーである」と。

現在、コンピュータ化された部品納期連絡システムや技術員派遣管理システム、インターネットを使った全世界のメンテナンス在庫部品検索システム、業界初の24時間対応の電話技術相談サービス、教育システムの拡充、各種の情報の公開と次々とお客様に役立つサービスの展開を行っております。

われわれの目指すものは、「Yamatolは本当にサービスの良い会社だ」とお客様より褒め言葉をかけていただくことであり、誰にも負けない一流のサービスと情報をご提供することです。



メンテナンス用部品専用倉庫

2002年度実習教育

2002年7月、当社は市場が待ち望んだ新形オートチェッカCSHシリーズを発売しました。CSHシリーズオートチェッカはコストパフォーマンスの良いモデルであり、HACCPに対応した衛生基準をクリアしつつ、タッチスクリーンを装備した高性能の重量選別機です。この機種の開発と発売により今後市場での大きなシェアが望まれます。

アフターサービスにも万全を期すべく、メンテナンス要員に対するきちんとした教育実習を企画し、マニュアル等資料の検討/作成/吟味、技術的な内容だけでなくメンテマンとしてのあるべき姿や、お客さまとの接し方に至るまで、Yamatoの営業、開発、設計、製造、サービス部門が総力を結集してこの教育に臨みました。

今回は8月6日～9日間で2回に分けて、各地のメンテディーラー各社様および当社のサービスマンを対象に2日間のコースで計約20名の参加を得て好評の内に第一回の教育



スケジュールを終了しました。

良い製品を開発、製造するだけでなく、本当にお客様に喜んでいただける据付けや、使用方法のご説明、安心してご使用いただけるアフターフォローを実感いただける様に、この教育実習はプログラムされており、教育を受け資格を授与されたメンテマンのみが今後この機種を取り扱うことができる体制を確立しました。



CSHシリーズオートチェッカー教育実習風景

信頼・技術・創造
ヤマト 大和製衡株式会社

URL : <http://www.yamato-scale.co.jp/>

本社営業	〒673-8688	兵庫県明石市茶園場町5番22号	TEL.078-918-555
普通はかり販売企画	〒673-8688	兵庫県明石市茶園場町5番22号	5TEL.078-918-55
東日本支店	〒113-0033	東京都文京区本郷1丁目28番23号	弓町株父ビル10階 7
中日本支店	〒456-0018	名古屋市中区新尾頭3丁目2番1号	擔保ジャパン熱田ビル1階 TEL.03-3815-522
大阪支店	〒550-0005	大阪市西区西本町1丁目3番10号	第五富士ビル9階 3
札幌営業所	〒062-0904	札幌市豊平区豊平四条7丁目2番1号	アーバンコート47 1階 TEL.052-683-103
千葉営業所	〒264-0025	千葉市若葉区都賀3丁目19番1号	パープルヴィレッジ106 1
九州営業所	〒812-0018	福岡市博多区住吉4丁目3番2号	博多エイトビル1階 TEL.06-6538-4101